

「のびゆくこどもプラン 小金井（小金井市子ども・子育て支援事業計画）」
事業進捗状況に対する平成27年度評価について（案）

1 進捗状況評価表1（教育・保育施設）について

1号認定（満3歳以上、幼稚園を利用希望）については、私立幼稚園利用者が通園している施設の所在地で見ると、44%の利用者が、市外の幼稚園に通園している。今後は、認定こども園の新設や、既存の保育施設の円滑な認定こども園への移行等により、現状よりも多くの児童が地域の施設に通園できる体制を整えていただきたい。

2号認定（満3歳以上、保育所を利用希望）及び3号認定（満3歳未満、保育所を利用希望）については、待機児童の解消に向け、定員拡充等に努めており、一定の前進は見られるところである。今後も、子ども・子育て支援事業計画を着実に推進することで待機児童の解消を図っていただきたい。

各認定区分を俯瞰すると、保育所利用の需給過不足については、満3歳未満では供給不足、満3歳以上では供給過剰になりつつある。一方、幼稚園利用については、供給不足分を市外幼稚園分で補っている状況が依然として続いている。特定保育施設（いわゆる認可）とそれ以外の保育施設、保育所と幼稚園を一体的に運用し、利用者が希望する教育・保育サービスを等しく受けられる体制づくりを進めていただきたい。

2 事業進捗状況評価表2（地域子ども・子育て支援事業）について

(1) 利用者支援事業

引き続き広報に努めるとともに、頼れる相談窓口となるよう進めていただきたい。

(2) 放課後児童健全育成事業（学童保育）

入所定員を超える児童を受入れることにより、入所希望児童の全入所を果たしているが、引き続き全入所を維持するとともに、そのことにより保育の質が損なわれないよう留意いただきたい。

また、計画の量の見込みと実際の登録人数に既に乖離があるようだが、放課後子ども教室との連携や活用も含め総合的な検討を進めるとともに、計画の変更については、進捗状況評価の継続性と乖離状況を踏まえたうえで、必要に応じ行っていただきたい。

(3) 一時預かり事業

保護者から多くの利用の声があるので、一時預かりの定員を拡大し、今後の課題を少しでも早く前倒しして保護者の不満を解消し、具体的に改善対応策を掲げ検討いただきたい。特に、小金井市は幼稚園が少なく、幼稚園の一時利用枠が少ないという特殊性からも、積極的な対応が望まれる。

また、一時預かり事業は、困っている人への対応という視点ばかりでなく、育児負担の軽減という視点も重要であり、子育て世代が住みやすいまちづくりを目指し、積極的な対応が望まれるところである。

(4) 全般的事項

地域子ども・子育て支援事業については、多様かつ多くの要望があるが、市の財政上の制約も踏まえ、優先順位に基づき、実現可能なものを確実に行うことが必要である。